

# 海軍公報(部内限)第四千四百四號

昭和十七年六月一日(月)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房第三一一一號

當分ノ間一般ヨリ寄附セラレタル恤兵金一〇萬圓ヲ海軍經理部恤兵金分任出納官吏ニ保管セシメ左記事項ノ一時立替資金ニ充當セシムルコトヲ得

昭和十七年五月二十二日

海軍大臣

記

(一) 戦死者正式發表迄相當期間ヲ要シ其ノ間遺族ニシテ生活安定上貸與至當ト認ムル者

但シ貸與金ハ無利子トシ毎月ノ貸與額ハ俸給一ヶ月分ノ範圍内トシ貸與金ノ整理ハ戦死者諸給與中ヨリ相殺スルモノトス

(二) 艦船(部隊)遭難(火災)等ニ依リ私有品ノ全部ヲ亡失セル生存者ニシテ所轄長ニ於テ生活安定上貸與至當ト認ムル者  
但シ貸與金ハ無利子トシ貸與額ハ俸給四ヶ月分ノ範

圍内トス

貸與金ノ整理ハ月賦其ノ他適宜ノ方法ニ依リ一ヶ年以内ニ回收スルモノトス

(三) 軍港(要港)等ニ於テ資金前渡官吏ノ設置ナキ艦船又ハ前渡官吏ト離レ行動スル艦船ノ乗員ニ對シ給與其ノ他ノ經費ヲ急遽立替支出ノ要アル場合  
備考

横須賀、吳、佐世保海軍經理部	各	三萬圓
舞鶴海軍經理部	各	六千圓
大阪、大湊海軍經理部	各	二千圓
計	一〇萬圓	

官房機密第六六一一號

昭和十七年官房機密第四三九二號中「及第八十二警備隊」ヲ「第八十二警備隊及第二航空隊」ニ改ム

昭和十七年五月三十一日

海軍大臣

(昭和十七年四月十五日本稿参照)

海軍公報(部内限)第四千四百四號 昭和十七年六月一日

五六一

0230

官房機密第六六一二號

昭和二年勅令第三百八十一號ニ依リ同十四年十月二十五日採用セラレタル海軍技術科士官ハ海軍將校相當官現役期間特令第五條竝ニ海軍武官服役令第三條第一項第一號ニ依リ當分ノ間服役期間ヲ延長ス

昭和十七年五月三十一日

海軍大臣

官房機密第四三五九號ノ二

臨時部外祕海軍購買名簿別冊ノ通改正ス  
別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配付セシム  
昭和十七年六月一日

海軍大臣

官房機密第四三七四號ノ二

部外祕海軍購買名簿別冊ノ通改正ス  
別冊ハ海軍省經理局長ヲシテ必要ノ向ニ配付セシム  
昭和十七年六月一日

海軍大臣

○ 遺 贈

官房機密第六六一三號

昭和十七年六月一日

海軍省 副官

關係廳長殿

航空兵器保管供給所名稱變更ノ件中改正ノ件通知

昭和十六年官房機密第八九九三號首題ノ件通牒中左記ノ通改正セラレ候

記

- 一 「第二海軍航空廠大湊支廠大湊補給工場、第二海軍航空廠大湊支廠千歲補給工場及第二海軍航空廠大湊支廠美幌補給工場」ヲ「第四十一海軍航空廠大湊補給工場、第四十一海軍航空廠千歲補給工場及第四十一海軍航空廠美幌補給工場」ニ改ム
- 二 第四十一海軍航空廠美幌補給工場ノ次ニ左ノ如ク加フ

青森縣上北郡 第四十一海軍航空廠三澤補給工場 三澤村

- 三 「第十一海軍航空廠大分補給工場、第十一海軍航空廠宇佐補給工場及第十一海軍航空廠佐伯補給工場」ヲ「第十一海軍航空廠大分支廠大分補給工場、第十

0231

- 一 海軍航空廠大分支廠宇佐補給工場及第十一海軍航空廠大分支廠佐伯補給工場」ニ改ム
- 四 「第十一海軍航空廠舞鶴支廠舞鶴補給工場及第十一海軍航空廠舞鶴支廠栗田補給工場」ヲ「第三十一海軍航空廠舞鶴補給工場及第三十一海軍航空廠栗田補給工場」ニ改ム
- 五 第二十一海軍航空廠博多補給工場ノ次ニ左ノ如ク加フ
  - 鹿兒島縣出水 第二十一海軍航空廠出水補給工場
  - 郡出水町
- 六 「第二十一海軍航空廠鎮海支廠鎮海補給工場及第二十一海軍航空廠鎮海支廠元山補給工場」ヲ「第五十一海軍航空廠鎮海補給工場及第五十一海軍航空廠元山補給工場」ニ改ム
- 七 第六十一海軍航空廠東港補給工場ノ次ニ左ノ如ク加フ
  - 舊海南海軍航空廠 第六十一海軍航空廠海南海補給工場
  - 德島縣板野郡 第十一海軍航空廠德島補給工場
  - 松茂村
- 八 第十一海軍航空廠小松島補給工場ノ次ニ左ノ如ク加フ

海恤第二號ノ二二六五

昭和十七年五月二十五日

海軍省人事局長  
海軍省經理局長

各海軍人事部長  
各海軍經理部長 殿

恤兵金貸與事項ニ關スル件通知

首題ノ件官房第三一一一號ニ依リ貸與ノコト、相成候條左記ニ依リ可然取計ハレ度

記

- 一 (一) 二項ニ關シ貸與ヲ受ケントスル者ハ人事部家族相談係(大阪ハ地方人事部、大湊ハ警備府副官)ニ申込ムモノトシ人事部ハ所要ノ調査ヲ爲シタル上ハ貸與至當ト認ムル者(一)ノ場合貸與者ノ順位ハ海軍給與令第六十七條ニ準ズ)ヲ經理部ニ通報スルモノトス
- 二 經理部恤兵金分任出納官吏ハ右通報ヲ受ケタル時ハ速ニ貸與スルモノトス
- 三 經理部長ハ貸與手續ヲ定メ關係各部ニ通報スルモノトス
- 四 恤兵金分任出納官吏ハ毎月月頭前月中ニ於ケル貸

與種別貸與者氏名、金額(回收狀況同斷)ヲ報告  
(二部) スルモノトス

軍需第一六三號

昭和十七年五月三十日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長  
各特設海軍軍需部長 殿

艦營需品整理ニ關スル件通牒

達第百六十八號改正ニ依リ艦營需品ヨリ品名削除相成  
候左記物品ハ自今主計長主管艦營需品修理用材料品ト  
シテ整理セシメラルルコトト相成候條了知相成度

記

主計長主管 消耗品

海軍諸例 則 追 録

海軍會計法規類集 追 録

艦營需品 取扱例規 追 録

燃料 取扱例規 追 録

帝國法規 追 録

海軍醫務制規 追 録

○表彰

海軍少將從四位勳二等 岸本 鹿子治

特殊潛航艇ヲ考案シ且其ノ設計及製造ヲ完成シ帝國

海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令

ニ依リ徽章竝ニ金九百圓ヲ授與ス

海軍造兵少將正五位勳三等 朝熊 利英

(通各) 海軍技師正七位 石井 欣之助

特殊潛航艇ノ重要設計ヲ擔任シ克ク之ガ完成ニ寄與

シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有

功章令ニ依リ徽章竝ニ金八百圓ヲ授與ス

海軍造船大佐正五位勳三等 片山 有樹

特殊潛航艇ノ重要設計ヲ擔任シ克ク之ガ完成ニ寄與

シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有

功章令ニ依リ徽章竝ニ金七百圓ヲ授與ス

海軍技手 楠 厚

特殊潛航艇ノ設計ニ方リ克ク之ガ完成ニ寄與シ帝國

海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令

ニ依リ徽章竝ニ金八百圓ヲ授與ス

海軍造兵大佐從五位勳三等 成瀬 正二

飛行機用魚雷ノ改造計畫ニ任ジ其ノ完成ヲ遂ゲ帝國

0233

海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ徽章竝ニ金八百圓ヲ授與ス

海軍中佐正六位勳四等 片岡 政市

飛行機用魚雷ノ改造ニ關シ特ニ其ノ實驗ヲ擔當シ之ガ完成ニ寄與セルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ徽章竝ニ金七百圓ヲ授與ス

海軍技師從六位 長島 秀男

飛行機用魚雷ノ改造ニ關シ克ク擔當セル研究ヲ完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ徽章竝ニ金七百圓ヲ授與ス

三菱重工業株式會社

優秀ナル艦上戦闘機機體ヲ完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス

中島飛行機株式會社

優秀ナル艦上戦闘機發動機ヲ完成シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ海軍技術有功章令ニ依リ茲ニ之ヲ賞ス

海軍少將從四位勳二等 山田 清

特殊潜航艇ノ重要設計ヲ擔當シ克ク之ガ完成ニ寄與シアルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ銀杯一組竝ニ金參百圓ヲ賞與ス

海軍造兵少將從四位勳三等 山田 幸五郎

特殊潜航艇ノ重要設計ヲ擔當シ克ク之ガ完成ニ寄與シアルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ銀杯一組竝ニ金貳百圓ヲ賞與ス

海軍技師從六位勳六等 丸石 山三郎

特殊潜航艇ノ設計ニ方リ克ク之ガ完成ニ寄與シアルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ銀杯一個竝ニ金四百圓ヲ賞與ス

海軍中佐從五位勳四等 加藤 良之助

特殊潜航艇ノ考案ニ關シ特ニ困難ナル實驗操縦ニ任シ之ガ完成ニ寄與セルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ金杯一組ヲ賞與ス

海軍少佐從六位勳五等 關 戸 好 蜜

海軍機關大尉正七位勳六等 堀 俊 雄

特殊潜航艇ノ考案ニ關シ特ニ困難ナル實驗操縦ニ任  
シ之ガ完成ニ寄與セルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ  
大ナリ仍テ銀杯一組竝ニ金貳百五十拾圓ヲ賞與ス

海軍技師正七位 中尾 源吾

飛行機用魚雷ノ改造ニ關シ克ク工作關係ヲ掌理シ之  
ガ完成ニ寄與セルハ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナ  
リ仍テ銀杯一組竝ニ金四百圓ヲ賞與ス

海軍技師從七位勳七等 野間 一良

飛行機用魚雷ノ改造ニ關シ克ク擔當セル研究ヲ完成  
シ帝國海軍ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ銀杯一組竝  
ニ金四百圓ヲ賞與ス

海軍航空技術廠

零式艦上戦闘機及九六式艦上戦闘機ノ製造ニ方リ克  
ク製作會社ヲ指導シ之ヲ完成セシメタルハ帝國海軍  
ニ貢獻スル所洵ニ大ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

横須賀海軍航空隊

零式艦上戦闘機及九六式艦上戦闘機ノ製造ニ方リ海  
軍航空技術廠ト協力シ之ヲ完成ヲ援ケ帝國海軍ニ貢  
獻スル所大ナリ仍テ茲ニ之ヲ表彰ス

宮崎縣  
連年海軍志願兵徵募ニ關シ好成绩ヲ擧グツアル處  
特ニ昭和十七年度ノ成績拔群ナリ仍テ七寶花瓶一個  
ヲ贈與シ茲ニ之ヲ表彰ス(以上昭和十七年五月二十  
七日海軍大臣)

○ 辭令

臺灣總督府交通局參事 稻田 稜

馬公警備府ニ於ケル軍事郵便事務囑託ヲ解ク  
(昭和十六年海軍省)

第三艦隊齒科治療業務囑託

小川 啓

自今報酬年額貳千八百八拾圓ヲ給ス(昭和十六年同)

東京帝國大學教授 小幡 重一

海軍技術研究所ニ於ケル造兵業務囑託ヲ解ク(昭和十六年同)

海軍大尉 滿田 穰

第二遣支艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス(昭和十六年同)

海軍少佐 米原 末男

支那方面艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス

0235

從七位勲六等 中島 有恒

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

吉村 俊男

支那方面艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

海軍少將 山口 實

遞信局技師 八木 幹二

海軍大佐 最上 修兒

同 小 熊 文 雄

(各通)

海軍少佐 齋藤 三郎

同 太 田 常 利

海軍大尉 平尾 誠一

同 山 口 一 郎

興亞院技師 比嘉 政雄

金森 三郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

臺灣總督府專賣局技手 和田 章

海軍警備府附ヲ命ス(同)

海軍豫備兵曹長 柳 瀨 治 診

吳鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(同)

興亞院調査官 西川 三 次

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(同)

河村 二 四 郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

岸 浪 義 賢

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

武井 玄 介

海軍省經理局ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

正 木 武 雄

川 久 保 佐 平 治

立 野 一

(各通)

桑 原 進

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ解ク

松浦 清一  
阿部 哲義  
醍醐 平吉

海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス  
但シ報酬年額貳千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

島田 心一

海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ解ク

海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

正七位勳五等 荒川 眞文

(各通)

海軍施設本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

鳥取縣書記官 宇佐美 毅

内務書記官 田中 省吾

土木事務官 大宮 森次

同 眞木 英男

同 内務技師 金子 源一郎

同 高橋 嘉一郎

同 河口 協介

(各通)

海軍施設本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

同 嶋野 貞三

横須賀海軍建築部事務ヲ囑託シ解ク

土木事務官 相島 計治

北海道帝國大學教授 堀内 壽郎

第一海軍燃料廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額貳百圓ヲ給ス

支那方面艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

支那方面艦隊業務ヲ囑託

自今報酬ヲ給セス

第二南遣艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

久保 辰二

米原 末男

第二南遣艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

宮平 秀昌

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

0237



第四艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク  
中谷 俊作

(各通) 南洋廳醫院醫長 村田 帶雲  
南洋廳醫院醫官 天ヶ瀬六三郎

第四艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託ス  
陸軍少尉 井上 英敏

第一海軍燃料廠ニ於ケル事務ヲ囑託ス  
麻生 太賀吉

第一海軍燃料廠ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任  
官待遇トス(以上<sup>各同</sup>)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度

隊、司令、軍醫長宛 朝 潮  
隊機關長、主計長宛 荒 潮

(第八驅逐隊)

横須賀郵便局經由

第十海軍軍用郵便所氣付(軍事郵便)

(特務艦 明石)

妙高司令部、妙高、羽黒宛ハ

當分ノ間 横須賀郵便局經由

第十海軍郵便所氣付(軍事郵便)

(妙高司令部)

當隊分離行動中隊宛書類ハ總テ寫一通呂號第六十五潛  
水艦へ直送相成度

(第二十六潜水隊)

○ 事務所撤去

第四潜水戰隊司令部殘務整理事務所ヲ五月二十五日撤  
去セリ

追テ爾後照會ヲ要スルモノハ當分ノ間横須賀艦船部  
内横濱特務少尉宛

(第四潜水戰隊司令部殘務整理員)

(限 内 部) ✓

# 海軍公報 (部内限) 第四千百五號

海軍大臣官房

昭和十七年六月二日(火)

## ○令 達

官房機密第六六六二號

海軍工廠、海軍工作部(特設工作部ヲ含ム)及工作艦(特設工作艦ヲ含ム)ハ戰地ニ於テ行動スル艦船及特設艦船ニ對シ昭和十五年官房第四七二號第一號ニ定ムル金額ニ拘ラズ修理用材料ヲ供給スルコトヲ得  
昭和十七年六月一日  
海 軍 大 臣

## ○通 牒

兵備四機密第一四〇號

昭和十七年五月二十八日

海 軍 省 兵 備 局 長

關係廳長殿

新規徵用者ヨリ現員徵用者ニ變更ノ件申進  
新規徵用者中徵用解除後引續キ海軍ニ服務スルコトヲ

希望シ(他ニ雇傭中ノ儘徵用セラレタル者ハ徵用前ノ雇傭主ニ於テモ異存ナキコト)且人物技能等廳長ニ於テ適當ト認ムル者ハ之ヲ採用ノ上現員徵用者トシテ取扱ヒ勤務期間ノ計算ハ入應ノ日ヨリ起算シ前後ヲ通算スルコトニ一定セラレ候  
追而死亡等ノ事故ヲ府縣ニ通知スル際ハ新規徵用者ヨリ變更セル者タルコトヲ記載セラレ度

艦本機密第八號ノ五六四四

昭和十七年六月一日

海軍艦政本部總務部長

各工廠長、工作部長、特設工作部長、  
工作艦長、特設工作艦長)殿

艦船修理用材料供給ニ關スル件依命通牒

六月一日官房機密第六六六二號ヲ以テ首題修理用材料供給ニ關シ艦政本部長ノ所定金額ニ拘ラズ供給シ得ルコトニ定メラレタルハ時局ノ進展ニ伴ヒ艦船ノ行動上  
所管工作應ヨリノ受入困難ナルト一方緊急修理工事増

海軍公報(部内限) 第四千百五號、昭和十七年六月二日

五七一

0239

加シ所定豫算内支辨困難等ヲ考慮シ艦船ノ行動ニ支障ナカラシムル趣旨ニ有之處之ガ供給ニ當リテハ艦ノ安定性能保持上昭和十四年七月六日軍務三機密第一二八號ニ定ムル工作材料艦内保有額限度ヲ參酌ノ上可然處理相成度

追テ工作艦ヨリノ供給ハ工作艦ニ於テ直接施行スル工事ニ差支ナキ範圍ニ於テ供給セシメラル、意向ニ有之候條申添候

○ 辭 令

海軍主計中尉 中田 和雄

花形海軍航空隊派遣隊員栗本ノ給與其ノ他ノ經費支拂ノ爲該隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(並働支拂)

常 海軍省經理局長)

海軍主計中佐 古賀 正雄

中華民國ニ於ケル材料物品準備購入費及委託購入物品費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 前 中 貫

臨時資金前渡官吏ヲ免ス

第一海軍經理部 村上 公孝  
員海軍主計大尉  
艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス  
同 前 中 貫

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上二十五名同)

- 海軍大佐 長尾 素夫(艦本監)
- 海軍機關大佐 大江 秀三(艦本)
- 海軍豫備大尉 深瀬 英次郎(三一驅潛)
- 海軍技師 米元 竹平(艦本監)
- 同 田坂 覺造(同)
- 同 菊池 正人(同)

第三十一號驅潛艇審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令潜水艦變更

第十二潜水隊司令ハ五月九日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ニ變更セリ

○司令艇指定

第二十三驅潛隊司令ハ五月十九日司令艇ヲ第二十四號驅潛艇ニ指定セリ

第二十六掃海隊司令ハ五月二十一日司令艇ヲ第一京仁

丸ニ指定セリ

○司令艇變更  
第十四掃海隊司令代理ハ五月四日司令艇ヲ羽衣丸ニ變更セリ

○郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度

吳郵便局經由 第二十五海軍軍用郵便所氣付  
但シ航空郵便ハ臺北郵便局經由第二十五海軍軍用郵便所氣付

(新 興 丸)

横須賀郵便局氣付 ヲ八八 ヲ七〇  
(第一 航 空 隊)

軍事航空郵便 臺北郵便局氣付 (軍事郵便)  
普通郵便 佐世保郵便局氣付 (唐 山 丸)

第十二特別根據地隊蘭貢本隊宛

佐世保郵便局氣付 イ貳五 イ參貳

同 アンダマン分遣隊宛 イ貳六 イ參貳 イ貳八

第十二通信隊蘭貢本隊宛

佐世保郵便局氣付 イ貳五 イ參四

同 アンダマン分遣隊宛

雁、江祥丸、第四十一掃海隊(第一、第三京丸、高雄丸、麗水丸)宛  
佐世保郵便局氣付 イ貳五 イ參貳 艦船名

追テ航空郵便ハ臺北郵便局氣付 (第十二特別根據地隊)

横須賀郵便局氣付 ヲ〇〇 ヲ壹四〇 (第十二設營隊)

○事務所設置  
伊號第三十四潜水艦艦裝具事務所ヲ五月二十八日佐世保海軍工廠内ニ設置シ事務ヲ開始セリ

○事務開始  
祥鳳殘務整理ハ五月二十七日海軍工機學校内ニ於テ事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ海軍工機學校内伊澤部隊事務所宛送付相成度 (伊澤部隊殘務整理主任)

第二航空隊ハ五月三十一日横須賀海軍航空隊内ニ設置事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ横須賀海軍航空隊内海軍山本部隊宛發送相成度 (第二 航 空 隊)

海軍公報(部内限)第四千百五號 昭和十七年六月二日

五七三

0241

○事務引繼  
在中華民國上海臨時資金前渡官吏五月二十五日事務引繼了ス

新任 海軍主計中佐 古賀 正雄  
舊任 海軍主計大尉 前中 貫

0242

〇

# 海軍公報 (部内限) 第四千百六號

昭和十七年六月三日 (水)

## 海軍大臣官房

### 〇 通牒

海人第一一號ノ一三三三  
昭和十七年六月三日

海軍省人事局長  
海軍省經理局長

關係所轄長殿

私有品被害者ニ對スル見舞金贈與ニ關スル  
件通牒

大東亞戰爭ニ於テ艦船部隊等事故又ハ遭難ニ依リ私有  
品被害甚シキ者ニ對シ慰恤ノ爲恤兵金ヲ以テ左ニ依リ  
見舞金ヲ贈與シ得ルコトト相成候

記

一 乗組又ハ便乗中ノ艦船ノ覆没、兵舎ノ焼失其ノ他  
之ニ類スル事故ニ依リ私有品ノ全部ヲ亡失シタル  
(臨時他ノ艦船部隊ニ起臥申私有品ノ一部ヲ亡失シ  
タル場合ヲ除ク) 軍人及艦警備人ノ生存者ニ對シ左

ノ金額ヲ贈與スルコトヲ得

准士官以上

三十圓

下士官

二十圓

兵及艦警備人

十圓

二 所轄長ハ前號ニ該當スル者アルトキハ該當者ノ員  
數、金額ヲ具シ海軍省經理局長ニ請求スルモノトス

三 海軍省經理局長ハ恤兵金ヨリ所要ノ金額ヲ支出シ  
當該所轄長宛送金ス

四 所轄長ハ贈與實施後其ノ官職氏名及金額ヲ海軍省  
人事局長及海軍省經理局長ニ通知スルモノトス

五 本見舞金ハ昭和十六年十二月八日以後ノ該當者ニ  
適用スルモノトス (昭和十三年官房第五一五九號ハ  
本號適用ノ日ヨリ自然消滅トス)

### 〇 辭令

海軍技術會議議員海軍少將 稻垣 生起  
海軍高等技術會議議員ヲ命ス

海軍公報 (部内限) 第四千百六號 昭和十七年六月三日

五七五

0243

海軍航空本部造兵 監督官海軍少佐 石 俊平  
名古屋監査官ヲ命ス (以上一六〇日海軍省)

(各通)

海軍中佐 井浦祥二郎  
同 鈴木榮二郎

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ命ス

同 金岡知二郎

昭和十七年度恩賜研學資金受賞者銓衡臨時委員ヲ命ス

同 清水 洋

恩賜研學資金受賞者銓衡常置委員ヲ免ス (以上前同)

軍令部附海軍編修 大西 克和

第三部第七課勤務ヲ命ス (二十五日軍令部)

軍令部出仕海軍大尉伯爵 伏見 博英

第四部長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ (六日同)

第百三海軍經理部分任 出納官海軍主計大尉 篠原 英夫

兼テ第百三海軍經理部ダバオ支部艦隊經費分任出納

官吏ヲ命ス (五日支出官 海軍省經理局長)

海軍主計大佐 隅野 四郎

東京海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝員事務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計大佐 倉永辰熊  
資金前渡官吏ヲ免ス (以上一六〇日同)

水路部附兼第四艦隊司令部附氣象技手 木 澤 綏

同 宮前 經吉

同 西尾 清重

同 小川 善朗

同 中臺 敏雄

同 花澤 正策

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ (二十四日水路部長)

水路部附兼第四艦隊司令部附氣象技師 木 澤 綏

主トシテ兼務應ニ於テ服務スヘシ (十五日同)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

隊、司令、主計長宛

機關長宛

軍醫長宛

第二十四號驅潛艇

第二十二號驅潛艇

第二十三號驅潛艇

(第二十三號驅潛艇)

<p>司令宛</p> <p>第八拓南丸 (第三十一掃海隊)</p> <p>軍事一般郵便物 吳郵便局氣付 七參貳 七四〇 軍事航空郵便物 臺北郵便局氣付 七參貳 七四〇</p> <p>(第二十二特別根據地隊)</p>	<p>○開隊</p> <p>當隊五月二十日宮崎縣東臼杵郡富島町ニ開隊セリ 追テ旅行順路竝ニ郵便物發送先左ノ通 旅行順路 日豐線富高驛下車 陸路富高驛ヨリ南行約十五町 郵便物發送先 宮崎縣富高郵便局氣付 海軍藤野部隊 尙當方面ハ目下住宅拂底ニ付當隊ヘノ赴任(轉勤) 者ノ家族移轉ハ當分見合セノ事ニ取計相成度 (第一航空基地隊)</p>	<p>○開校</p> <p>六月四日海軍潜水學校大竹分校ヲ開校ス</p> <p>○第一南遣艦隊軍法會議ノ給與其他ノ經費ハ二月二十五日以降、第四十一海軍軍用郵便所ノ給與其他ノ經費ハ三月三日以降第十特別根據地隊主計長ヲシテ之ヲ掌理セシム (第一南遣艦隊司令長官)</p>
<p>○事務引繼</p> <p>東京海軍監督官事務所資金前渡官吏六月二日事務引繼ヲ了ス</p> <p>新任 海軍主計大佐 隅野 四郎 前任 同 倉永 辰熊</p>	<p>○事務所撤去</p> <p>第三號掃海特務艇艇裝員事務所ヲ五月三十一日撤去セリ</p> <p>○正誤</p> <p>五月二日通牒欄中「恩給第九二號」ハ「恩第九二號」ノ誤 同二十一日通牒欄官房第三〇七二號別紙様式本文中「勤務演習」ノ次ニ「召集」ヲ脱ス</p> <p>○本日普通公報發行セズ</p>	

海軍公報(部内限) 第四千六百六號 昭和十七年六月三日

五七七

0245



# 海軍公報

(部内限) 第四千七百七號

海軍大臣官房

昭和十七年六月四日(木)

## ○ 通 牒

艦本機密兵電第四九七號

昭和十七年六月三日

海軍艦政本部總務部長

關係廳長殿

電路兵器受入ニ關スル件通知(各長主管)

自今艦船部隊等(特設部隊ヲ含ム)ニ裝備シタル物品  
中電路器具ハ兵器ニ之ヲ受入レザルコトニ定メラレ候  
追テ工作廳ニ於ケル修理及圖面承認(協議)申請等  
ニ關シテハ從來通處理ノコトト了知相成度

## ○ 辭 令

遞信局技師 仲 直 溫

第五海軍軍用電信所長ヲ免シ第十三海軍軍用電信所  
長ヲ命ス

通信書記 井手 六郎

(各通)

同 草野 清一  
同 山下 甚吉

第五海軍軍用電信所員ヲ免シ第十三海軍軍用電信所  
員ヲ命ス

通信書記補 山本 充夫  
遞信局技手 高橋 竹義

(各通)

工務員 佐藤 璋  
同 榮田 光忠

第五海軍軍用電信所員ヲ免シ第十三海軍軍用電信所  
員ヲ命ス  
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上 海軍省)

機械工員 吉川 弘

第十海軍軍用郵便所副長ヲ命ス

遞信局事務官 福田 齋

通信書記 牧野 太郎  
遞信局書記 山田 一郎  
通信書記 中垣 鹿一

海軍公報(部内限) 第四千七百七號 昭和十七年六月四日

五七九

(各通)

通信書記補 春本 良治  
 同 福井 茂  
 通信局書記補 板野 廣市  
 同 藤川 涉  
 通信書記補 友谷 武男  
 同 糸谷 利一

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

通信手 山下 辨二

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス  
部内限判任官待遇トス

事務員 中里 勝太郎  
 同 田村 仁珠  
 同 伊藤 英夫  
 同 竹本 岩夫  
 同 齋藤 正永  
 同 飯泉 文作  
 同 天野 正明  
 同 水本 良治  
 同 持田 米男  
 同 深野 藤三  
 同 村田 正次

(各通)

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上三六四同)

(各通)

第十三海軍軍用電信所員ヲ命ス

機械工員 柴田 清司

第十三海軍軍用電信所員ヲ命ス  
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス(以上三四四同)

(各通)

海軍武官任用委員ヲ命ス

海軍法務中將 尾畑 義純  
 海軍法務大佐 島田 清  
 海軍法務大佐子爵 戸田 忠孝  
 海軍法務大佐 山布 喜久雄

(各通)

海軍法務中佐 金井 重男

同 非崎 富之助

海軍法務少佐 馬場 東作

同 中島 武雄

昭和十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(以上請同)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第四水雷戰隊司令官ハ五月二十日旗艦ヲ由良ニ變更セリ

○ 司令潜水艦變更

第十二潜水隊司令ハ五月九日司令潜水艦ヲ伊號第六十九潜水艦ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

吳郵便局氣付(軍事郵便) 七壹貳 七參六

(第四警備隊)

○ 訂正

四月二十一日日本欄郵便物發送先中「七壹四 七貳〇」ヲ「七四五 七貳〇」ニ訂正ス

海軍公報(部内限) 第四千百七號 昭和十七年六月四日

五八一

0248

(限 内 部)

0249

# 海軍公報 (部内限) 第四千八百八號

昭和十七年六月五日 (金)  
海軍大臣官房

## ○ 令 達

官房機密第六六二八號  
官房機密第三三三三號中左ノ通改正ス  
昭和十七年六月一日

海軍大臣

第一航空隊	佐世保
第三航空隊	佐世保
第一航空隊	佐世保
第二航空隊	横須賀
第三航空隊	佐世保
第三十二航空隊	
第三十三航空隊	吳
第三十五航空隊	

第三十二航空隊	佐世保
第三十三航空隊	
第三十五航空隊	吳

ニ改ム

官房機密第六八六〇號  
海軍兵學校第七一期生徒、海軍機關學校第五十二期生徒及海軍經理學校第三十二期生徒ノ修業期間ヲ三年トス

昭和十七年六月五日

海軍大臣

## ○ 通 牒

軍務一機密第四〇三號  
昭和十七年六月五日

海軍省軍務局長

海軍公報 (部内限) 第四千八百八號

昭和十七年六月五日

五八三

各鎮守府  
各警備府  
各艦隊 參謀長殿

長崎市上空飛行禁止ニ關スル件通知

昭和十五年軍務二機密第二二三號申進首題ノ件解除セラレ候

艦本機密第一一號ノ五七七二

昭和十七年六月四日

海軍艦政本部總務部長  
海軍航空本部總務部長

關係廳長殿

住友金屬工業株式會社和歌山製鐵所視察

見學ノ件照會

近時部内高等官ノ住友金屬工業株式會社和歌山製鐵所  
ヲ視察ノ爲往訪セラル、向キ多キヲ加ヘツ、アル所同  
所ハ目下建設ノ初期ニ在リ工場設備亦整ヒアラザルニ  
付施設關係者以外ノ同所視察ハ折角遠路往訪ノ價値ナ  
キノミナラス同所關係者ニ之ガ應接等ニ意外ノ手數ヲ  
要セシメ延テハ建設作業ニモ支障ヲ來ス虞有之候條右  
御了知ノ上可然取計相成度

(限 内 部)

0251

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年六月五日 (金)  
海軍大臣官房

○雜款

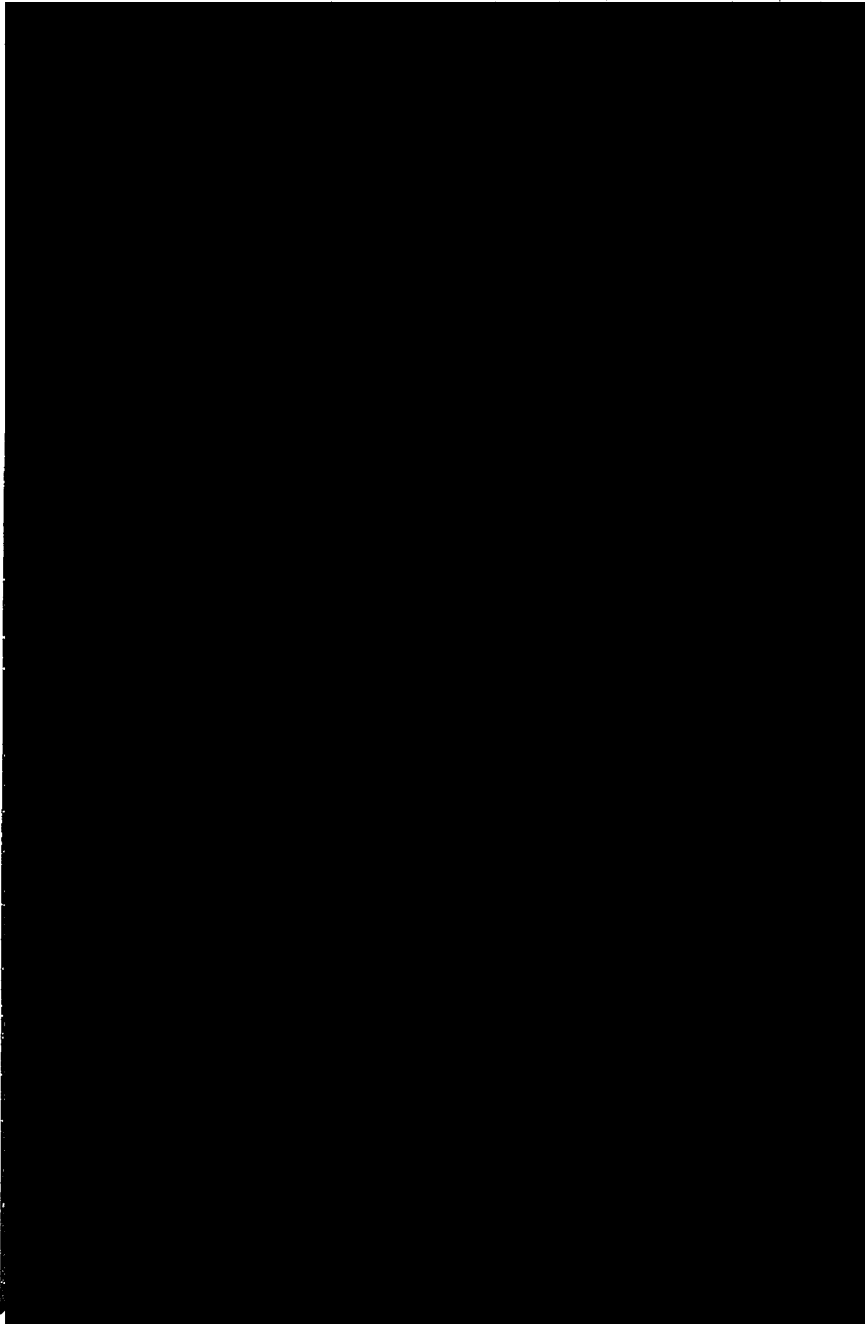
○懲罰

懲罰言渡書

海軍公報 (部内限) 號外

0252

海軍公報 (部内限) 號外



0253

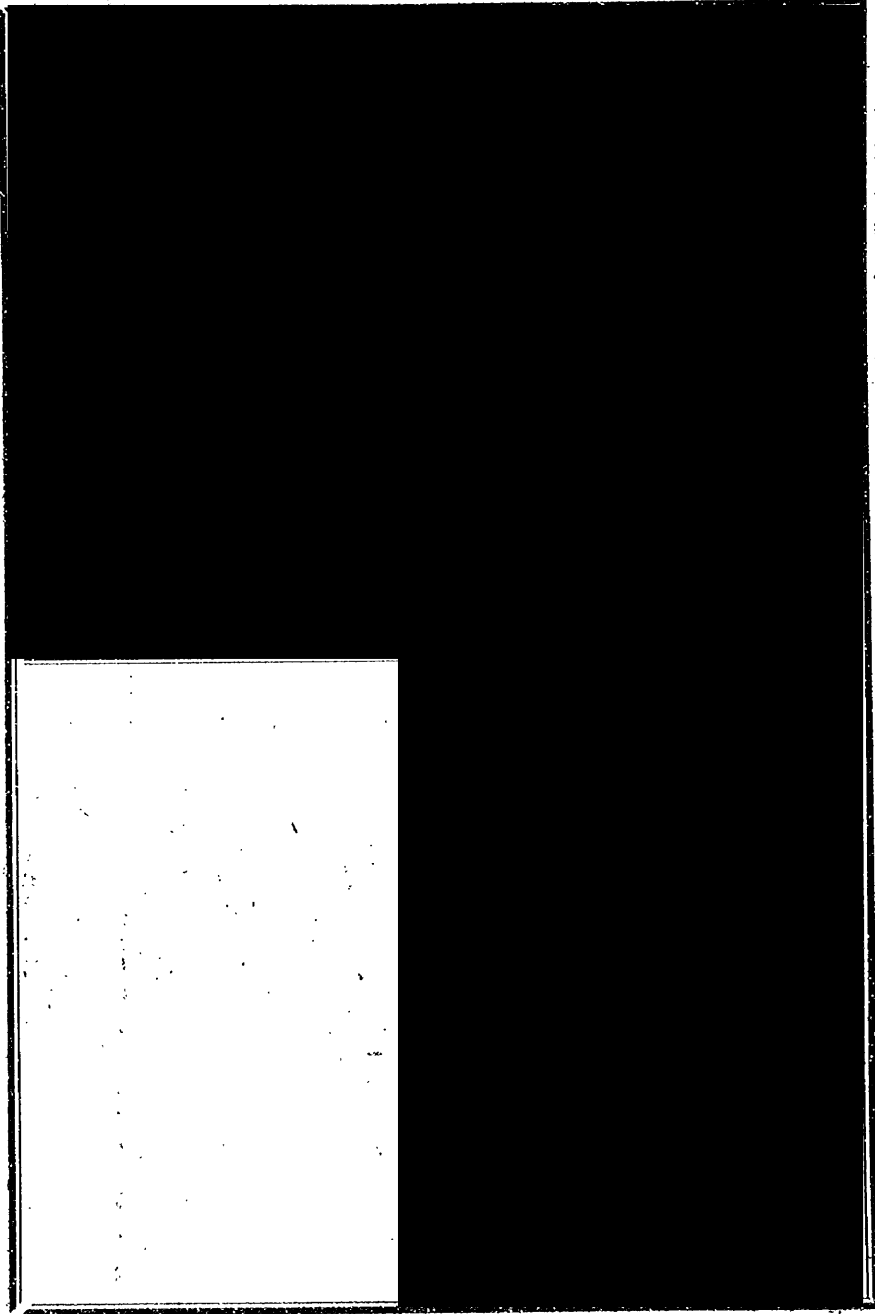
海軍公報 (部内限) 號外

三



0254

海軍公報 (部内限) 號外



四

# 海軍公報 (部内限) 第四千九百號

昭和十七年六月六日 (土)  
海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第六九一七號

昭和十六年官房機密第一一四三七號中左ノ通改正ス

昭和十七年六月六日

海軍大臣

第一號供給擔任區分ヲ左ノ如ク改ム

分 區	任 擔	給 供	特 設 設 營 隊 名	供 給 擔 任 建 築 部
第十 設 營 隊	第十三、第十四設營隊	佐世保海軍建築部	第四海軍建築部東京支	
		吳海軍建築部		
		橫須賀海軍建築部		
		第十一設營隊		
		第十二設營隊		

第三號中「特設設營班員」ヲ「特設設營隊附」ニ改ム  
本文、第一號、第五號及第六號中「特設設營班」ヲ「特設設營隊」ニ改ム

別紙様式中「海軍特設設營班」ヲ「第一、設營隊」ニ、「特設設營班長」ヲ「特設設營隊長」ニ改ム

### 附 則

本令ハ昭和十七年四月二十七日ヨリ之ヲ適用ス

(參照) 昭和十六年官房機密第一一四三七號ハ特設設營班ニ要スル機械、器具及材料ノ供給及整理ニ關スル件ナリ(機密會計法規類集一一五頁)

官房機密第六九一八號

海軍雇員、傭人、工員及鑛員ニシテ戰地以外ニ於テ戰時災害(戰鬪行爲ニ因ル災害及之ニ起因シテ生ズル災害)ニ依リ傷痍ヲ受ケ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ之ヲ公務扱ヒトス但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
官役人夫(海軍ニ於テ直接身分取扱ノ者)ハ本令ニ準ジ取扱フコトヲ得

昭和十七年六月六日

海軍大臣

一所屬廳ニ於テ勤務中(命令ヲ受ケ出張作業中ヲ含

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千九百號

昭和十七年六月六日

五八五

0255

ム)ナルトキ

- 二 所屬廳長ノ命令等ニ依リ待避中ナルトキ
- 三 其ノ他特ニ所屬長官ニ於テ前各號ニ準ズルモノト認メタルトキ

(參考)

戰時災害保護法第二條「本法ニ於テ戰時災害ト稱スルハ戰爭ニ於ケル戰鬪行爲ニ因ル災害及之ニ起因シテ生ズル災害ヲ謂フ」

○通牒

恩第一四〇號

昭和十七年六月六日

海軍省人事局長

關係廳長殿

航空勤務加算ニ關スル件通牒

恩給法施行令第十四條ノ規定ニ依ル航空勤務加算ニ關シ左記ノ通取扱相成度

追テ大正十二年恩第五二二號ハ廢止ノコトト了知相成度

記

- 一 恩給法施行令第十四條第一號ノ規定ハ落下傘降下訓練ニ従事スル者飛行中ノ航空機ヨリ降下シタル場合ニ適用アルモノトス(昭和十六年三月三十一日以前同勤務ニ服シタル者ニ對シテハ同年改正前ノ同條第一號後段ノ規定ニ依リ加算ス)
- 前項ノ外落下傘訓練ニ従事スル者航空機ニ搭乘シタルトキハ同條第二號乃至第四號ニ依リ加算ス
- 二 同條第二號後段ノ規定ハ航空加俸支給規則第二表航空加俸支給區分中「第一表日額甲ヲ給スヘキ者」ニ適用ス

(參照)

恩給法施行令

第十四條 恩給法第三十六條ノ規定ニ依リ航空加算ヲ爲スベキ場合ニ於テハ左ノ區分ニ依ル

- 一 航空機ニ搭乘シ特ニ危險ト認ムル特殊ノ航空勤務ニ服シタルトキハ其ノ服務期間ノ一月ニ付二月
- 二 同月内ニ於テ飛行時數十時間以上飛行機ニ搭乘シ航空勤務ニ服シタルトキ又ハ航空機ニ搭乘シ特ニ危險ト認ムル航空試験ニ従事シタルトキハ其ノ一月ニ付一月半
- 三 同月内ニ於テ飛行時數五時間以上飛行機ニ搭乘

シ又ハ十時間以上航空船、航行中ノ艦船繋留氣球  
若ハ自由氣球ニ搭乘シ航空勤務ニ服シタルトキハ  
其ノ一月ニ付一月  
四 前三號ニ掲グルモノヲ除クノ外一時間以上航空  
機ニ搭乘シ航空勤務ニ服シタルトキハ其ノ一月ニ  
付半月

軍需第一六八號

昭和十七年六月六日

海軍省軍需局長

各海軍軍需部長殿  
乘員慰安等ノ爲艦船ニ蓄音機等ノ物品供  
給ニ關スル件通牒

昭和五年官房第五三九號ヲ以テ決裁相成候首題ノ件中  
（ロ）標準金額ノ部中「下士官兵ノ定員一、〇〇〇名以上  
ノ艦船五〇〇圓」ノ下ニ「但シ五〇〇名ヲ増ス毎ニ一  
〇〇圓ヲ増加スルコトヲ得」ヲ追加セラレ候

（會計法規類集四卷二三九頁参照）

○ 辭 令

海軍少佐 小川 綱嘉(伊三潛)

(各通)  
關海軍少佐 吉留善之助(吳 廠)  
海軍大尉 木村 正男(伊三潛)  
海軍機關中佐 竹谷慶次郎(吳 廠)  
海軍機關大尉 福 本 勇(伊三潛)  
伊號第三十三潜水艦航空兵裝審議委員ヲ命ス(第海  
軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令砲艦變更  
第五砲艦隊司令ハ六月一日司令砲艦ヲ京城丸ニ變更セ  
リ

○郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度

軍事一般郵便 吳郵便局氣付 七壹〇 七參四  
軍事航空郵便 臺北郵便局氣付 七壹〇 七參四  
(第一二警備隊)  
(吳鎮守府第二特別  
陸戰隊殘務整理員)

司令、軍醫長、主計長宛 京城丸  
機關長宛 日海丸  
(第五砲艦隊)

○事務開始

臺灣海軍燃料廠(假稱)設立準備事務所ヲ六月一日第一海軍燃料廠内ニ開設事務ヲ開始セリ

○北鮮方面ニ向ケ敦賀北鮮線定期船ニ乗船ノ向ハ會社ト交渉ノ都合上直接本府ニ連絡相成度  
(敦賀在勤海軍武官府)

○取消

本月二日辭令欄中海軍主計中尉山田和雄ノ辭令ハ取消ス